

「こまめに満タン・そなえて安心 一声運動」

SSスタッフマニュアル

1. 「こまめに満タン」をSSからPRしよう !!

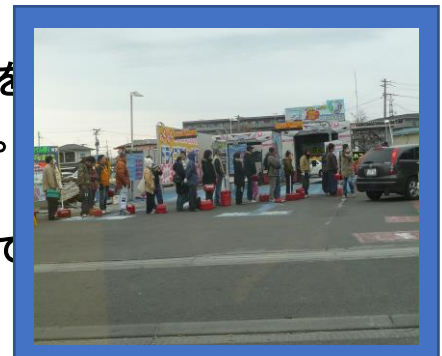
運動のキッカケ: 東日本大震災時の石油パニック



東日本大震災発生時は、停電や石油製品の供給途、地域住民、避難者などがSSに殺到、SS周辺道ソリ

ガソリンを求める車で長蛇の車列が市内各所で発生しました。冬季であったことからSSは、車だけではなく、ポリ缶や携行缶を持ったお客様で溢れ、希望する量も購入出来ませんでした。

この石油をめぐる混乱は、地域の皆様だけではなく、ライフラインの復旧や生命、安全を緊急車両等への給油も困難となっていました。



熊本地震や大阪北部地震、北海道胆振地震等で同様の現象が発生しました。

満タンであれば...



○災害時の「安心」が高まります

①避難の時も②プライバシー空間としても③暖冷房で温度管理も④情報収集拠点としても利用できます。

※（アイドリング状態が約40時間確保できます）

- ※400km程度の移動が可能になります。*1

*1 タンク容量、車両燃費により異なります。

誰でも簡単・・・こまめに給油



できる

○こまめに満タンを習慣にしよう

大災害が発生すると家庭用燃料（ガソリン・軽油・
入手が困難になります。

車の燃料メーターが半分位になったら満タンにす

こまめに満タンにするだけ。心がけしだいで誰でも

災害対策、減災の手段。 これで、「安心」!!

2.SS スタッフ間で満タンキャンペーンを理解し、共有しよう!!

(1)SS内において、今回の「満タンキャンペーン」の目的やお客様への周知につ
いてミーティングを行いましょう。

次の「声掛けの内容」についてもアイデアを出し合ってみましよう。

3.お客様に声掛けをお願いします。

(2)満タンキャンペーンの「応募券」をお渡しする際、

例 1:「こまめに満タンで 災害に備えましよう!!!」

例 2:「いつ災害が起こるかわかりません。

こまめな給油で災害に備えましよう!!!」

と「一声運動」をお願いいたします。



・全国各地で大規模な災害が多発してい
ます。

・災害は突然やってきます。

・石油製品は、食料や飲料水のように備
蓄することが出来ません。

普段(平時)から災害時の安心のために常
時満タンを心掛けることを提案します。

「自分の命、ご家族の命を守るため
にも」...

『こまめに満タン』を心がけて
災害に備えるようお願いします。